

防府市図書館サービス振興基本計画

【平成30年度事業計画】

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく資料の選書・収集と質・量両面の充実 ・図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊 ・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点 ・適正な資料の組織化(分類・目録)、装備と利用しやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供 ・全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月) ・正確・迅速な貸出・返却業務、適正な予約・リクエスト受付業務の推進
---------------	--

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的・効率的な運用によるサービスの強化 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用 ・ホームページの整備、充実 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」への定期的な記事の掲載、地域コミュニティFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進 ・「平成29年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日) ・設備・備品の適正な維持管理と環境整備 ・的確な保安・警備・防犯対策の推進 ・危機管理体制の改善と整備 ・利用マナー啓発活動「マナーアップキャンペーン」(7月1日～8月31日)の実施
---------------	--

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回する移動図書館運営業務の推進 ・コース・ステーション等の半年毎の見直し
---------------	---

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施
---------------	---

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

H30年度 事業計画	・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)、第28回防府図書館まつり(10月20日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催
---------------	---

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

H30年度 事業計画	・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)
---------------	---

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

H30年度 事業計画	・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)において、元福音館書店編集長の松本徹氏による講演会を開催 ・防府図書館ビブリオバトルの開催(5月・7月・11月の3回) ・防府図書館利用者懇談会の開催(12月) ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施
---------------	---

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

H30年度 事業計画	・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進
---------------	-----------------------------------

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H30年度 事業計画	・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊
---------------	---

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

H30年度 事業計画	・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ・「上山満之進没後80年展」の防府市教育委員会との共催(5月2日～28日・於アスピラート) ・防府史料第68集『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』下巻(若月保治・著)の刊行とホームページへの掲載(3月)
---------------	--

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H30年度 事業計画	・春川市立図書館との資料交換と整理・提供・保存(年1回、100冊程度交換)
---------------	---------------------------------------

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ・地域文庫事業・貸出文庫事業の推進
---------------	--

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等の推進 ・博物館や文書館との連携強化 ・財団内連携推進会議の開催(毎月1回) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ・山頭火ふるさと館との連携推進
---------------	--

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館員の開催(8月2回) ・「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・出前講座・出張イベント等の開催
---------------	---

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施
---------------	--

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、障害者福祉施設や高齢者福祉施設を2週間に1回の周期で巡回 ・点字・大活字本等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進
---------------	--

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・音声資料の整備・充実 ・郵送貸出・対面朗読サービス等の活用による障害者・高齢者の図書館利用の促進
---------------	--

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体との連携・協力による、障害者・高齢者のための資料の収集・提供 ・認知症に優しい図書館となるためのボランティア団体等との連携・協力
---------------	--

平成28年度 防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価

- 評価基準 A: 計画通り実施し、一定の成果があった。
 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 C: 不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 年間図書購入目標冊数11,000冊(一般8,300冊、児童2,500冊、郷土関係130冊、その他70冊) 年間視聴覚資料購入目標点数115点(CD100点、DVD15点) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> 図書購入冊数13,561冊(一般9,964冊、児童3,506冊、郷土関係81冊、その他10冊) CD購入点数100点、DVD購入点数17点 		
課題等	郷土関係資料の発行に関する的確・迅速な情報収集と対応		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 全体としては概ね計画通りの適正な資料購入ができたが、郷土関係その他の資料の購入冊数は目標の冊数に達しなかった。郷土資料の刊行情報の収集に努め、積極的な資料収集に取り組む必要がある。 	評価	B

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行 「図書館年報」を発行 開館時間等の拡大に伴い、内容を一部変更して「図書館利用案内」等のリーフレットを発行 指定管理者制度導入や開館時間延長に伴うホームページの内容変更 図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」を活用 図書館まつり、子ども読書フェスティバルの開催 図書館利用マナーリーフレット等の作成 職員・警備員・警察官等による館内巡回の実施 接遇に関する職員研修の実施 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度館外個人貸出者数144,696人、館外個人貸出冊数574,497冊 「ほうふ図書館だより」(A4版 4頁)「ほうふとしょかんこどもしんぶん」(A4版 2頁)「新刊紹介」(A4版 2頁)を毎月発行 「図書館年報」平成27年度版(A4版 22頁)を発行 7月30日 開館時間等の拡大に伴い、内容を一部変更して「図書館利用案内」等のリーフレットを発行 指定管理者制度導入や開館時間延長に伴いホームページの内容を変更 図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」に定期的に記事を掲載 第6回防府市子ども読書フェスティバルを開催(5月29日)参加者数280人 第26回防府図書館まつりを開催(10月15日)参加者数3,000人 夏休みにマナーアップキャンペーンを実施、図書館利用マナーリーフレット等を作成 職員・警備員・警察官等による館内巡回を随時実施 施設管理会社と毎月定期協議を実施、施設管理に関する日報や業務報告書を提出させた。 館内機械警備システムの補強を12月13日に実施 接遇に関する職員特別研修を実施(11月1日)、通常研修は毎日の朝礼等で実施 		
課題等	広報紙の内容のレベルアップ、広報の対象や方法等の見直し		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」の運行 ・「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の運営 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」 6コース35ステーション運行 ・平成29年度に向けて、ステーション、コースを見直し、平成29年4月からのステーションを36箇所にした。 ・「地域文庫」15か所、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」) 101団体運営 		
課題等	・移動図書館ステーションの利用度格差		
自己評価	計画通り実施し、貸出者数が388人、貸出冊数が1,650冊、ともに増加した。	評価	A
(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス充実のための職員研修実施 ・レファレンス事例集の作成 ・読書案内サービスの強化 ・パスファインダーの作成 ・フロアワークの推進 ・資料検索システム、Web目録等の内容整備 ・利用者開放インターネットサービスの整備 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス充実のための職員研修を実施 ・レファレンス事例記録を随時記入 ・読書案内サービスを随時実施 ・パスファインダー・ミニブックリストを随時作成 ・フロアワークを随時実践 ・資料検索システム、Web目録(OPAC)等の内容整備を、12月22日の図書館コンピュータシステム更新に伴い実施 ・利用者開放インターネットサービスの整備を、12月22日の図書館コンピュータシステム更新に伴い実施 		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見】
 計画に沿って適正な資料購入が行われており、移動図書館の利用が増加していることは評価できる。今後は、郷土資料の収集にも努力を望むとともに、高齢化が進むと大活字本の需要が増すと思われるため、購入の拡大を望む。また、移動図書館についても、地域文庫を含めて更なる充実を期待する。接遇については、研修の成果が見られるものの、まだ十分ではないと思われる。フロアワークの充実も含め更なる努力を望む。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市子ども読書フェスティバルの開催 ・防府図書館まつりの開催 ・図書館利用者懇談会の開催(年1回開催) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回防府市子ども読書フェスティバルを開催(5月29日) 参加者数280人 ・第26回防府図書館まつりを開催(10月15日) 参加者数3,000人 ・図書館利用者懇談会を開催(2月10日) 参加者数9人 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の参加者数を増やしていくための対策 		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月～3月 4回開催) ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(年1回開催) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(2月17日) 参加者数16人 ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(3月9日)参加者数20人、(3月13日)参加者数28人、(3月16日)参加者数19人、(3月23日)参加者数19人 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアの養成とスキルアップ 		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見】

図書館まつりは市民に定着しているが、子ども読書フェスティバルは、子どもの参加を増やす方が必要である。また、平成28年度から図書館利用者懇談会と図書館ボランティア連絡会議を開催したことは有意義であった。

今後は、毎年開催している行事についても見直しを行うべきであり、中学生や高校生とのコラボレーション企画などの新しい試みの検討や行事広報用のチラシ作成における工夫も必要である。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

H28年度 事業計画	・毎月テーマを決めて行う館内3箇所以上での図書館月例資料展示の実施 ・新たな図書館行事の展開		
事業実施 状況	・毎回テーマを決めて、館内3箇所での月例資料展示を35回、ミニ資料展示を32回実施 ・平成28年度からの新規図書館行事として、「利用者懇談会」「ボランティア連絡会議」「ビブリオバトル」を開始		
課題等	・資料の利用促進に結び付く展示内容の工夫		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

H28年度 事業計画	・新たな生涯学習グループ活動の奨励		
事業実施 状況	・平成28年度の新規登録団体2団体		
課題等	・図書館が生涯学習グループ活動に機会と場を提供していることの広報・周知		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見】

館内の展示やその周知には更なる工夫が必要と思われるため、利用者やボランティアの意見を聞いて改善に努めて欲しい。また、平成28年度から開催された図書館ボランティア連絡会議により、サークル活動を進めるうえでの要望や意見を把握し、図書館運営に活かして欲しい。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H28年度 事業計画	・年間郷土資料収集目標冊数560冊		
事業実施 状況	・平成28年度郷土資料収集冊数389冊、内購入81冊、寄贈308冊		
課題等	・郷土関係資料刊行についての的確、迅速な情報収集、調査研究、及び職員研修の強化		
自己評価	郷土関係資料の収集冊数が目標冊数を大きく下回った。そもそもの出版点数が少なかった可能性もあるが、今後、あらゆる手段を用いて刊行情報の収集に努め、積極的な資料収集に取り組む必要がある。	評価	C

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

H28年度 事業計画	・防府史料第66集の刊行・電子書籍化 ・上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承		
事業実施 状況	・防府史料第66集『西浦新開作の誕生と撫育方』を刊行(3月25日)、ホームページに掲載 ・上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承に関して、パンフレット「防府図書館75年の歩み」を10月に刊行し関係記事を記載、各方面に広く配布		
課題等	・後継者の養成と職員の研修		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H28年度 事業計画	・春川市立図書館との資料交換事業 ・日本語・日本文化学習のための資料の収集・整理・保存・提供		
事業実施 状況	・春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受入登録 ・春川市立図書館へ図書100冊を寄贈 ・日本語・日本文化学習のための資料を、随時収集		
課題等	・外国語・外国文化の基礎を理解するための職員研修の実施		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見】

郷土資料の収集・提供には職員の知識や技術が重要となるため、広く情報を得る努力と研修の充実を望む。また、地域の出版物等を寄贈してもらえるようなPRも必要である。
「防府史料」の電子化と公開は、高く評価できるが、今後、郷土資料の主題別リストの作成、資料紹介、地域の先人・文化人等の顕彰等も期待する。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのネットワーク・システム構築可能な図書館コンピュータシステムへの更新(12月) ・小中学校への図書館利用カードの発行と利用促進 ・学校司書の研修機会や場の提供の拡大 ・学校、児童館等への団体貸出(貸出文庫)の拡大 ・リクエスト対応等による地域文庫サービスの内容充実 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのネットワーク・システム構築可能な図書館コンピュータシステムが稼働(12月22日) ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムが稼働(2月1日) ・学校司書のための著作権講習会を開催(9月12日) ・学校司書の研修機会や場の提供 ・団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)101団体運営 ・地域文庫からのリクエストに随時対応 		
課題等	・学校図書館とのネットワーク・システムの積極的な活用による学校支援の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・資料相互貸借、レファレンス協力の推進 ・県立図書館の研修講師派遣事業の活用 ・防府市文化振興財団内連携部会の設置 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資料相互貸借、レファレンス協力について随時対応 ・県立図書館の講師派遣レファレンス研修他、他の図書館や防府市文化振興財団内の他機関と連携した職員研修を実施 ・防府市文化振興財団内連携部会会議を8月から毎月1回開催、連携事業について検討 ・資料展示等で防府市文化振興財団内のアスピラートやソラールと連携 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」加入登録に向けて準備を整えた。 		
課題等	・他の図書館等との情報交換を密にして、サービス向上につながる情報を積極的に入手すること		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見】

学校図書館とのネットワークが構築されたのは、大きな前進であるが、今後は市立図書館と学校図書館等の連携や流通システムなど、その運用の充実を望む。

文化振興財団内部の連携による事業展開に期待したい。また、国立国会図書館や県立図書館等との連携協力によるサービスの充実に努めて欲しい。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会の開催 ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施と募集対象の拡大 ・児童サービス向上のための職員研修の実施 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会「子どもと絵本をたのしむ」(講師:土居安子)を、防府市子ども読書フェスティバルの中で開催 参加者数80人 ・教育総務課と図書館の連絡調整会議を毎月1回定期開催 ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の募集対象を小学生のほかに中学生にも拡大(応募点数 小学生19点 中学生17点 計36点) ・児童サービス向上のための職員研修を実施 ・「ビブリオバトル」を開催(2月26日) 参加者数25人 		
課題等	・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の応募数の伸び悩みと学校との連携		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月～3月 4回開催) ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(年1回開催) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(2月17日) 参加者数16人 ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(3月9日)参加者数20人、(3月13日)参加者数28人、(3月16日)参加者数19人、(3月23日)参加者数19人 ・学校図書ボランティアネット防府と合同研修の実施(6月22日・2月23日) 		
課題等	・ボランティアとの協働の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見】

図書館が子どもたちにとって身近な存在であるよう様々な機会を通じて浸透させていくことが重要であるため、図書館職員が児童向けに図書館をPRするなどの取組を望む。
新たな試みとしてのビブリオバトルは有効だが、今後は、実施方法などの検討が必要である。また、児童コーナーのディスプレイには、ボランティア等への支援要請も検討すべきと思われる。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本の整備・充実 行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等との連携強化 筆談によるサービス 障害者用郵送貸出サービスの周知と推進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> 点字図書、布絵本についてはボランティアと連携協力して収集 大活字本、さわる絵本、各種視聴覚資料については購入 行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等と随時連携 筆談によるサービスを随時実施 障害者用郵送貸出サービスを随時実施 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 障害者サービスに係る周知・広報活動の強化 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画通り実施できたが、障害者が利用しやすい図書館にする工夫が必要。 	評価	B

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的にを行う図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作 障害者サービスを更に推進するための図書館コンピュータソフトの導入(12月) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等と連携協力して点訳資料、音訳資料、布絵本等を製作 障害者サービスを推進するための図書館コンピュータシステムが12月22日に稼働 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 障害者サービスに係る職員研修の強化 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画通り実施できたが、障害者が利用しやすい図書館にする工夫が必要。 	評価	B

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある利用者のためのボランティア活動への支援強化 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある利用者のためのボランティアが利用しやすい図書館コンピュータシステムが12月22日に稼働 音訳ボランティア「あいの会」と視覚障害者の図書館利用を促進するための協議をした。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアとの連携協力体制の強化 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画通り実施できたが、障害者が利用しやすい図書館にする工夫が必要。 	評価	B

【図書館協議会の意見】

高齢者・障害者のニーズを調査し、利用しやすいサービスや支援体制を整えて欲しい。さらに、障害者サービスに係る周知についても取り組んで欲しい。また、障害のある利用者のためのボランティア講座開催も期待する。